

本文ファイル（論文）の公開についてよくある質問

Q

本文ファイルを公開するメリットは何ですか？

A

T2R2システムに登録されている業績は、Google等の検索エンジンや、Google Scholarの検索対象になっています。全世界の研究者の目に触れる機会が増え、業績の可視性が一層向上します。本文ファイルの公開によって、新たな読者を幅広く獲得できる可能性が高まり、ひいては被引用回数の増加につながります。

Q

T2R2システムで本文ファイルを公開するには？

A

東京科学大学理工学系ポータル(<http://portal.titech.ac.jp/>)経由でT2R2システムの登録サイトにアクセスしてください。手順にしたがって本文ファイルを登録し、「公開希望」を選択します。詳しくは2～3ページをご覧ください。

Q

本文ファイル公開の基準はありますか？

A

多くの場合、学術論文の著作権は著者から出版社に譲渡されています。本文ファイルの公開にあたっては、出版社が設定する著作権ポリシーに従う必要があります。ポリシーの確認とT2R2システムに登録された本文ファイルの公開作業は図書館にて代行します。
なお、本文ファイルの公開を希望される際は共著者全員の許諾も必要です、T2R2システム上で「公開希望」を選択される前に、共著者全員に許諾をお取りください。

Q

著作権を出版社に譲渡した論文をT2R2システムで公開できますか？

A

著作権が出版社に譲渡されている論文でも、一定の条件を満たせばT2R2システムから本文ファイルを公開できる場合があります。
例えば、海外出版社では**査読後原稿の著者最終版**であれば、公開が認められることがあります。また、出版社によっては**査読後原稿の出版社版**の公開を許可している場合もあります。さらに、発行から一定期間を経過した後に公開を許可する出版社もあります。
T2R2システムで公開希望を選択されていて、登録された本文ファイルが著者最終版でなかった場合には、図書館から著者最終版のご提供をお願いすることがあります。
著者最終版と出版社版の違いについての詳細は4ページをご参照ください。

T2R2システムに本文ファイルを登録する手順 (1)

A

T2R2システムへのログイン

東京科学大学理工学系ポータル (<http://portal.titech.ac.jp/>) にログイン後、メニューから「東京科学大学リサーチリポジトリ (T2R2)」をクリックするとT2R2システムの登録サイトにアクセスできます。画面左の「Tool Box」の「登録」の「論文・著書」より「新規登録フォーム」をクリックして登録画面を開きます。

B

登録 (登録に関する詳しい説明はT2R2システム登録サイト上の「論文・著書登録の流れ」を参照してください。)

1 ログイン後の画面は右のようになります。

<ログイン後の画面>

2 画面左の「Tool Box」の枠内にある「登録」ボタンをクリックします。下のように登録関連のメニューが展開表示されます。



3 「論文・著書」の下の「新規登録フォーム」をクリックします。

4 「論文・著書新規登録」画面が開きます。

<論文・著書新規登録画面>

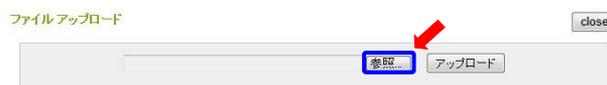
5 「論文・著書新規登録」画面で「ファイルのアップロード」をクリックします。

※ 本文ファイルは事前にPDF形式で保存しておいてください。



T2R2システムに本文ファイルを登録する手順（2）

6 「ファイル アップロード」の画面が開きます。



7 「参照」（使用するブラウザにより表示が異なります。ここではIEを例にしています）をクリックし本文ファイルを選択します。



8 「アップロード」をクリックするとファイルがアップロードされ、画面は「論文・著書新規登録」に戻ります。

C

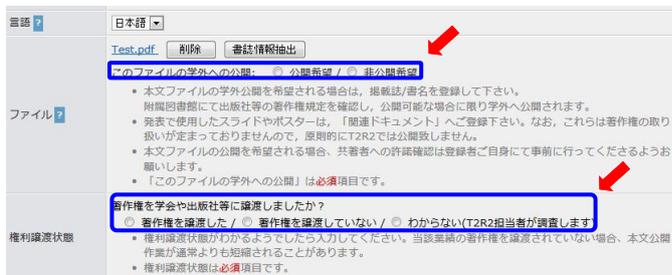
PDF ファイルに関する必須項目の設定～登録

9 PDFファイルがアップロードされると「論文・著書新規登録」画面に「このファイルの学外への公開」と「権利譲渡状態」画面が表示されます。**どちらも必須項目**ですので設定をお願いいたします。

※ 登録時に公開できなかったり、公開未定だったりする場合は「非公開希望」を選択し、公開可能となった時点で「公開可能」に変更してください。

※ 「権利譲渡状態」は「業績種別」にて特定の項目（会議発表論文、会議発表梗概、解説・総説、研究調査・報告、テクニカルレポート）を選択すると表示されます。

10 続いて、タイトル、著者などを入力します。最後に「登録」ボタンをクリックします。



※ 「書誌情報抽出」ボタンをクリックすると、PDFファイルからT2R2システムへの登録に必要な情報（タイトル、著者名等）を抽出できる場合もあります。（PDFファイルの仕様によって異なります。）

D

学外への公開と著作権

A 「このファイルの学外への公開」画面で「公開希望」を選択された場合、後ほどT2R2担当者が出版社や掲載誌のファイル公開要件を確認し、可能な場合は公開します。「権利譲渡状態」は把握されている範囲でお答えください。わからない場合は、「わからない」を選択してください。T2R2担当者が調査します。

B 多くの場合、学术论文の著作権は著者から出版社に譲渡されています。本文ファイルの公開にあたっては、出版社が設定する著作権ポリシーに従う必要があります。ポリシーの確認とT2R2システムに登録された本文ファイルの公開作業はT2R2担当者が代行します。

なお、本文ファイルの公開を希望される際は、T2R2システム上で公開希望に設定される前に、共著者全員に許諾をお取りください。

T2R2システムで公開される本文ファイルの版について

? 著者最終版とは？

著者最終版は、**図1のA**にあたり、査読後、出版直前の著者の手元にある最終稿を指します。海外の出版社が発行する学術雑誌の多くは機関リポジトリ（※）での**著者最終版**の公開を認めています。

例えば2013年1月現在、Elsevier、Springer、IEEEが発行する雑誌に掲載された論文の多くは、**著者最終版**であればT2R2システムから本文ファイルを公開することができます。このような事情から、T2R2システムでの公開を予定されている場合には、**著者最終版**をお手元に保存されることをお勧めいたします。

また、著者最終版のご提供を別途ご相談させていただくこともあります。

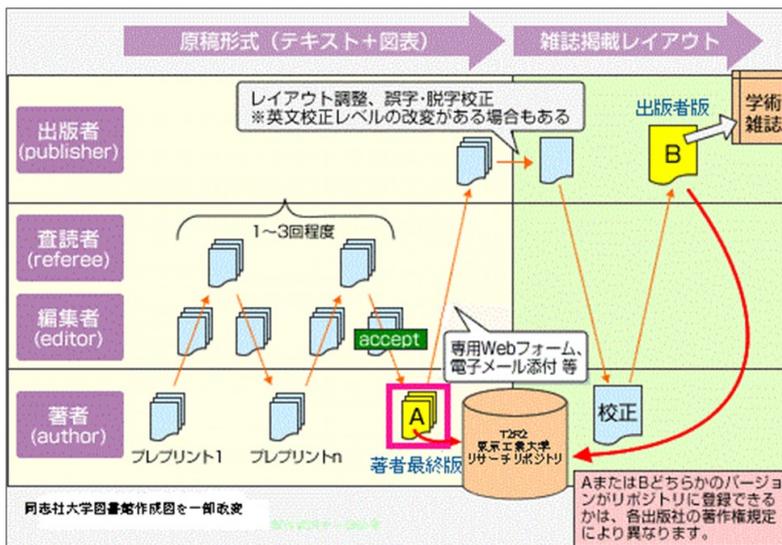


図1: 投稿された論文の各段階における著作権の状況

なお、以下のサイトから学会・学術雑誌の機関リポジトリ登録に関する著作権ポリシーについて検索できます。

- 【国内発行の雑誌】 SCPJ学会著作権ポリシーデータベース <http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/>
- 【国外発行の雑誌】 SHERPA/RoMEO <http://www.sherpa.ac.uk/romeo/>

※ 機関リポジトリとは、大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービスです。本学（主に理工学系の研究者）では東京科学大学リサーチリポジトリ（T2R2）が該当します。

? 出版社版とは？

出版社版とは、**図1のB**にあたり、査読済みの論文を雑誌に掲載するため、出版社が編集を施した原稿を指します。**出版社版**の著作権は、ほとんどの場合、出版社に譲渡されており、出版社が認める場合にはT2R2システムからの公開が可能です。**出版社の電子ジャーナルサイトからダウンロードしたPDFファイルは、出版社版にあたります。**

ここで、出版社版の見分け方の例をご紹介します。

次の①～③のいずれかが表記されている場合、**出版社版**と考えられます。

- ① 出版社ロゴマーク
- ② 雑誌名
- ③ 書誌情報

その他：©、Copyright（著作権者マーク）やDOIコード（文献識別番号）の表記

